

+ 成田赤十字病院広報誌

ふれあい

〒286-8523 千葉県成田市飯田町90-1

TEL 0476(22)2311(代) <http://www.naritasekijyuji.jp/>

+
第2号
2003.11



あなたの笑顔が見たいから…
成田赤十字病院は行動します！

精神神経科の診療について

ストレス社会といわれますように、現代に生きる私たちはさまざまなストレスの中で生活しております。学校でのストレス、会社でのストレス、家庭内でのストレスなど生きること自体がさまざまなストレスとの戦いであるといっても過言ではないと思います。そのなかで「パニック障害」「うつ病」あるいは「統合失調症」などの精神疾患を発症してしまう方も大勢いらっしゃいます。当院の精神神経科は精神科の治療が必要な方でしたらどなたでも受診できますが、病診連携の立場からは、「眠れない」、「いらいらする」、「なんとなく気持ちが落ち込んでいる」といった比較的軽い症状の場合はお近くのクリニックを、日常生活を維持することが困難なほど重い症状の場合は、当科を受診していただくことをお勧めしております。もちろん、クリニックの紹介状があれば、積極的に診療させていただきます。

当科は現在、5名の精神科医師（内、4名は精神保健指定医）で診療しておりますが、「外来」では初診担当1名、再診担当2名で診療を行っており、初診患者様は紹介状を

お持ちでない方の場合、1日4名までと限定させていただいております。再診の患者様も多くなってきており、現在の医師数、診察室数では円滑な診療を行うのが難しくなっているためです。ご高齢の方で「もの忘れ」などの症状をお持ちの方は当院に併設しております「老人性痴呆疾患センター」という機能で対応させていただきます。当科外来が医療社会事業課にお申し込み下さい。「病棟」は閉鎖病棟50床がありますが、入院は身体合併症をお持ちの方、急性の精神疾患の方などが優先されます。また、入院するほどでないが、精神疾患のためになかなか社会でうまく活動できないという方のために「精神科デイケア」を行っております。週5日開催しておりますが、1日6時間で週1日以上、原則として6ヶ月以上継続して参加できることが条件となります。当科の外来を受診している方に限らせていただいております。外来を受診の上、主治医におたずね下さい。

※お問い合わせ先 0476-22-2311(代)

緩和ケア病床の紹介

さて、今回のふれあいでは3年前に開設した緩和ケア病床の紹介をさせていただきます。

皆さん、“緩和ケア”という言葉をお聞きになったことはありますか？では、“ホスピス”という言葉はいかがでしょう？“ホスピス”は1960年代からイギリスで広まり始め、日本では1990年ごろから施設が増え始めました。山崎章郎先生の“病院で死ぬということ”という本がきっかけでホスピスという概念が日本でも広がりました。それまで日本の医療は“治すこと”に力が入られ、現代医学では治癒が望めない方への医療やケアが後回しになっていたのが実情でした。でも、「治ることができない方ほど体や心に痛みを持っている、ケアが必要だ」という考えが広まり始めて、ホスピスの必要性が唱えられました。昨年、“生き方上手”がミリオンセラーになった聖路加看護大学の日野原重明先生もホスピスを広めてきた中心人物です。ホスピスとは現代医学では治癒が望めない方やご家族へ体や心の痛みをケアするところです。誤解がないように付け加えると、ホスピスの根本には“病める人に愛を施すというキリスト教のホスピタリティの考え”があります。関東では聖ヨハネ桜町病院、聖隷三方原病院、関西では淀川キリスト教病院のホスピス病棟が知られています。

では、緩和ケアとは・・・？緩和ケアも広い意味ではホスピスと同じなのですが、病気のためにおきているつらい症状をとる、または軽くするという症状のコントロールが緩和ケアの目標になります。症状といっても「痛い」「気持ちが悪い(嘔気)」「お腹が張る」「呼吸が苦しい」「心が

つらい」「食欲がない」などさまざまです。そこで、外科や内科、精神科の医師、臨床心理士、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、看護師などがチームを組んで、皆で相談しながら患者様の苦痛を軽くしていくというケアを行うところが緩和ケア病床です。現在、緩和ケアの必要性が唱えられ、いろいろな病院で緩和ケア病棟(病床)を設立するようになりました。赤十字病院も広尾の日赤医療センター、山口赤十字病院、この近辺では国保旭中央病院、千葉の山王病院が緩和ケア病棟を持ってケアにあたっています。当院でも新病院設立の際、6床の緩和ケア病床ができました。

では、当院の緩和ケア病床の紹介をいたします。スタッフは外科・内科・精神科医師、臨床心理士、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、看護師がチームを組んでいます。病院の中のどこにあるのかというと、A棟5階東病棟、ナースステーションの前を通過って奥の方にある個室6床(奥なので静かな環境)です。「がん患者様とご家族の方の苦痛をケアする、総合病院での緩和ケア病床であることを活かしてさまざまな職種の能力を集結して患者様・ご家族への問題に対応する」という理念のもと、ケアを行っています。しかしながら、設立してそれほど時間が経っていないこと、外科・内科の混合病棟で専任スタッフがいらない中での活動で、まだまだ十分なケアを提供できていないのが実情です。でも、スタッフ皆で勉強しながら、患者様やご家族が満足できるケアを提供できるように努力しています。

病室は患者様やご家族が家にいる時のようにリラックスして過ごせるように工夫されています。お好きな映画や家

族のビデオが見られるようにビデオがあります。趣味やご家族との団欒はつらい症状を軽くしてくれます。冷蔵庫や電子レンジ、電磁調理器があって好きなものを料理して食べていただけるようになっています。また、応接セットは簡易ベッドにもなるのでご家族の方に泊まっていただくこともでき、患者様とご家族が大切な時間を過ごすこともできます。各部屋にユニットバスがあるので、患者様はもちろん、ご家族の方も使っていただけます。患者様の体や心の痛みを無くしたり軽くしたりしていく上で、私たち医療者のケアや薬の力ではご家族の方のお力に及ばないことが多々あります。ご家族がそばにいただけで患者様が安心されてリラックスできる、つらい症状が軽くなるということが多くあります。ですから、患者様・ご家族と一緒に過ごせる空間を大切にしていきたいと思っています。

最後に、“モルヒネのパフレット”の紹介をいたします。ひと昔前とは違って今は、痛み合った薬と量を使えば、がんの痛みはほとんど取れるといわれています。モルヒネという薬は、ひと昔前は誤解の多い薬でしたが、今は手術の後の痛み止めにも積極的に使いますし、使い方をきちんとすれば痛みをとる薬としてとても有効です。昨年、緩和ケアスタッフがモルヒネという薬についてのパンフレ

ットを作りました。副作用や薬の注意点などが書かれています。ご希望の方は外来や病棟に見本が置いてありますのでご覧になって、主治医や看護師に声をかけてください。

緩和ケア外来の紹介

緩和ケア病床に入院する前に、緩和ケアの外来に来ていただいています。

毎週月曜日 13:00~15:30 (予約制)

外科 石井Drと緩和ケア病床の看護師が担当しています。

～予約の取り方～

成田赤十字病院にかかっている方の予約：

主治医に申し出てください。または外科外来の窓口に出してください。

成田赤十字病院にかかっていない方の予約・緩和ケアについて相談したい時：

14:00~16:00にお電話をください。お話を伺って予約を取ります。

電話番号は0476-22-2311(代)

「A5階東病棟、緩和ケアについて相談したい」とおっしゃってください。



ベッドは電動ベッドです。



電子レンジや電磁調理器で料理ができます。



応接セットの椅子と足台が簡易ベッドになります。ビデオで映画やホームビデオが観られます。



モルヒネの副作用や注意について書かれているパンフレット。



ユニットバス



お誕生日、季節の行事も行います。

成田赤十字病院 外来担当医表

診療受付時間 午前8：30～午前11：00（自動再来受付機による再診受付は午前7：00から）但し形成外科は午後12：30から

（平成15年10月1日現在）

診 療 科 目			月	火	水	木	金	土 (第1・3・5)
内 科	①	初 回 再 診	柳 沢	松 尾	尾世川	小 方	蓮 沼	藤森 新島 森尾 倉本 志賀 遠藤 江渡 平栗 交代で1診ずつ
	②		寺 沢	青 埴	脇 田	新 島	松 浦	
	③		寺 田	平 栗	櫻 田	松 浦	志 賀	
	⑬		倉 本	小方／尾世川		江 渡	森 尾	
	⑤総合 1	再 (予 約)	門 平	武 田	柳 沢	尾世川	大 橋	伊 能
	⑥総合 2		加 藤	波多野	松 本	(膠原病)柳沢	前 田	〈訪問〉
	④血液内科		青 埴	脇 田	松 浦	脇 田	脇 田	尾世川
	⑧消化器内科		小 方	伊 能	福田(和)	遠 藤	木 下	柳 沢
	⑨呼吸器内科		新 島	江 渡	新 島	喘息外来	寺 田	波多野
	⑩循環器内科		尾世川	寺 沢	森 尾	志 賀	藤 森	松 岡
	⑪腎臓内科		蓮 沼	大 橋	(糖尿病)松尾		倉 本	蓮 沼
	⑫糖尿病内科		荻 野	櫻 田	松 尾	荻 野	櫻 田	荻 野
	(午 後)				⑥長谷川/藤森		江 渡	
	救 急 外 来		午 前 後	青 山	北 原	門 平	志 田	武 田
人 間 ド ッ ク	午 前 後	吉 村	竹 田	藤 堂	押 田	万 代		
	午 前 後	松 岡	蓮 沼	蓮 沼	伊 能	松 岡	蓮沼／伊能	
糖 尿 病 教 室		松尾／櫻田					松尾／櫻田	
外 科	初 診	再 診	大多和	菅 谷	石 井	清 水	西 谷	西 澤
	再 診		小川・菅谷	石 井	西 澤	小川・西谷	大多和	太 田
			西 村	清 水	太 田	古川・第3山中	西 村	
心臓血管科	初 診・再 診			小 林		小 林		
整 形 外 科	初 診	再 診	喜 多	斉 藤	三 枝	井 上	小 泉	初診・指定患者・ 投薬のみ
	再 診		三枝・小泉	喜多・井上	斉藤・小泉	三 枝	喜 多	
			杉 岡	小 林	杉 岡	斉 藤	井 上	
小 児 科	特 殊 外 来 (要 予 約)	初 診・再 診	眞山・野口(博) 角南・渡邊	眞山・五十嵐 有 馬	野口(博)・野口(靖) 鈴 木	野口(博)・角南 野口(靖)・渡邊	眞山・野口(博) 有馬・五十嵐	野口(博) 第1・5五十嵐 第1・5渡邊
		午 後	第1・3(予防接種)	(乳児健診) 交代制	(内分泌)眞山	第3(神経)・渡邊 杉 田	藤森(発達)	第3野口(靖)
			野口(博)		(血 液)角南		第3鈴木	
			第4(発達) 野口(博)		(循環器)本田・浜田 交代制			
脳 神 経 科	初 診・再 診	柴 橋	澤 浦	加 藤	中 村 国保(第3)	五十嵐	加 藤	
産 婦 人 科	初 診	再 診	上 杉	小 林	坂 本	藤 田	石 井	小 林
	婦 人 科 産 科		小 林	藤 田	上 杉	石 井	坂本・外丸	KSP外来大学医師
眼 科	初 診・再 診		渡 部	交代制	交代制	渡 部	渡 部	交代制
		窪田・宇高	高橋・宇高			高橋・窪田		
耳鼻咽喉科	初 診・再 診		根 本	橋	休 診	根 本	橋	初診・指定患者・ 投薬のみ
		海老原	浅 野	海老原		海老原		
皮 膚 科	初 診・再 診		山 本	寄 藤	手術日	山 本	寄 藤	初診・指定患者・ 投薬のみ
		宮 川	山 本	宮 川		伊豫田		
泌 尿 器 科	初 診・再 診		大 木	山 本	中 町	大 木	中 町	第1・3新保 第5大木/中町
		中 町	吉 田		吉 田			
神 經 内 科	初 診	再 診	大 飯	小 松	吉 川	田 村	片 山	片 山
	再 診	片 山	吉 川	田 村	片 山	小 松		
	特 殊 外 来 (予 約 制)	再 診 の み 午後1：30～				(パーキンソン病) 吉 川		
精 神 科	初 診	再 診	斎 賀	赤 田	佐 藤	竹 田	吉 村	竹 田
	再 診	赤田/吉村・竹田	佐藤・佐竹	斎賀・吉村	佐藤・斎賀	赤田・竹田	赤田/佐藤・吉村/斎賀	
放 射 線 科	初 診・再 診		岡 田	大学講師 (尾 形)	岡 田	大学講師 (磯 部)	岡 田	指定患者のみ
麻 酔 科	初 診・再 診			藤 井		江 澤		木 島
口 腔 外 科	初 診・再 診		宮 東	宮 東	宮 東	宮 東	宮 東	宮 東
形 成 外 科	初 診・再 診 午後12:30～		黒 木		黒 木		黒 木	
			中 島		中 島		大 森	
呼 吸 器 科	初 診・再 診		斉 藤		斉 藤			

※内科①～⑬は診療室の部屋番号です。

基本理念・基本方針

【基本理念】

- ・医療の質の向上、安全な医療の提供に努めます
- ・患者様の権利、医療人としての倫理を守ります
- ・患者様中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます

【基本方針】

- ・地域の皆様から信頼される病院を目指します
- ・救急医療の充実、より高度な医療の提供に努めます
- ・地域の医療機関とのより一層の連携（病診連携、病病連携）に努めます

患者様の権利

私たちは、患者さまの権利を尊重し、最善の医療の提供に努めます。

1. あなたの尊厳を守ります。
2. 適切な医療を受ける権利を尊重します。
3. 診療についての十分な情報、説明を受ける権利を尊重します。
4. 自分自身の治療について自分で決定する権利を尊重します。
5. あなたのプライバシーが守られます。